

## 社会基盤分野の戦略重点科学技術選定の考え方

1. 地理的・地質的・気候的に自然災害が多発する我が国において、国民の安全を確保するためには、「減災対策」として、特に人的・物的被害をもたらす要因そのものを抑える対策と災害発生後の迅速な救命・救助に重点をおく必要がある。これらの減災対策技術に集中投資して、災害による死者数、経済被害額を大幅に削減し、世界一安全な国・日本の実現を目指す。

減災を目指した国土の監視・管理技術

現場活動を支援し人命救助や被害拡大を阻止する新技術

2. 高度経済成長期に大量に建設された社会資本等の老朽化が進み、大更新時代を迎えつつある。また、2005年より人口減少するなど少子高齢化が急速に進んでいる。このようなことを踏まえ、社会基盤の機能を適切に保持し、再生する技術に集中投資し、我が国が世界で初めて直面する緊急課題に対応した社会の形成を図る。

大更新時代・少子高齢化社会に対応した社会資本・都市の再生技術

新たな社会に適應する交通・輸送システム新技術

## 安全が誇りになる国

### 災害に強い新たな減災・防災技術を実用化する。

- 地震観測・監視・予測等の調査研究
- 地質調査研究
- 耐震化や災害対応・復旧・復興計画の高度化等の被害軽減技術
- 火山噴火予測技術
- 風水害・土砂災害・雪害等観測・予測および被害軽減技術
- 衛星等による自然災害観測・監視技術
- 災害発生時の監視・警報・情報伝達および被害予測等の技術
- 救助等の初動対応、応急対策技術
- 災害に強い社会の形成に役立つ研究
- 施設等における安全確保・事故軽減等の技術

### 深刻化するテロ・犯罪を予防・抑止するための新たな対応技術を実用化する。

- 有害危険物質の探知・処理技術
- 不法侵入を防ぐ探知技術開発
- 被害軽減のための脆弱性把握及び予測技術
- 犯罪防止・捜査支援技術

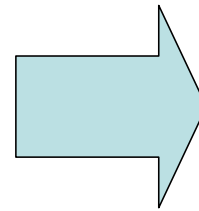
## 環境と経済の両立

### 世界に誇れる資源循環型社会を実現する。

- 省資源で廃棄物の少ない循環型社会の構築

### 持続可能な生態系・水循環の保全と利用を実現する。

- 国土の保全と土砂収支
- 水循環・物質循環の総合的なマネジメント
- 健全な生態系の保全・再生
- 国土の将来の姿の予測・適応



## 減災を目指した国土の監視・管理技術

- 高機能高精度地震観測技術
- 災害監視衛星利用技術
- 高度速効減災技術
- 国土保全総合管理技術
- 社会科学融合減災技術

## 現場活動を支援し人命救助や被害拡大を阻止する新技術

- 災害現場救援力増強技術
- 有害危険物現場検知技術
- 社会防犯力増強技術

## 環境と経済の両立

世界に誇れる資源循環型社会を実現する。

- 省資源で廃棄物の少ない循環型社会の構築

持続可能な生態系・水循環の保全と利用を実現する。

- 国土の保全と土砂収支
- 水循環・物質循環の総合的なマネジメント
- 健全な生態系の保全・再生
- 国土の将来の姿の予測・適応

自動車や船による大気汚染や海洋汚染を最小化する。

- 船舶による大気汚染・海洋汚染の防止
- 高度環境適合航空機技術

## 安全が誇りになる国

既存のインフラを活かした安全で調和の取れた国土・都市を実現する。

- ヒートアイランド問題の解消
- 社会変化に適応した都市構造の再構築
- 輸送機器・住宅の低コストな省エネルギー化
- 省エネルギー型の都市の構築
- 資源・環境の保全を含む地域マネジメントシステムの開発
- 社会資本・建築物の維持・更新の最適化
- 快適で安全な生活空間の形成

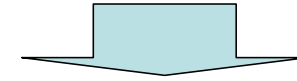
安全で快適な新しい交通・輸送システムを構築する。

- 交通・輸送システムの安全性・信頼性の向上
- ヒューマンエラーによる事故の防止
- 地域における移動しやすい交通システムの構築
- 陸・海・空の物流のシームレス化

## 生涯はつらつ生活

年齢や障害に関係なく享受できるユニバーサル生活空間・社会環境を実現する。

- ユニバーサルデザインの推進・普及
- 誰もが元気に安心して暮らせる社会の実現
- あらゆる場所で、あらゆる人の多様な活動を支援する基盤づくり
- 多面的機能を考慮した農山漁村における生活環境基盤の整備手法の開発



大更新時代・少子高齢化社会に対応した社会資本・都市の再生技術

社会資本長寿命化革新技術  
人口減少対応社会形成技術

新たな社会に適応する交通・輸送システム新技術

公共交通予防安全新技術  
新需要対応航空機国産技術